

ふれあいひろば

[患者とともにある全人的医療]

腫瘍内科が新設されました

腫瘍内科 伊藤和彦

令和2年4月から当院に新設された、腫瘍内科についてご紹介します。



写真1. 腫瘍内科入り口

今の時代、2人に1人がかかるといわれる、悪性腫瘍の患者さんを対象とする科となります。

腫瘍内科について、インターネットのコトバンクでは、おおむね下記のような説明がなされています。

「抗がん薬治療をはじめとして、すべての領域の悪性腫瘍患者、もしくはそのリスクをもつ者を診療する。悪性腫瘍の予防から（早期）診断、治療ならびに精神的ケア、さらにはターミナル・ケアにいたるまでの、悪性腫瘍にかかわるすべての包括的医療を担い、大規模病院に設置されることも多くなっている。（中略）がん治療には、さまざまな治療手段を試みる集学的治療が要求される。このため、腫瘍内科医は癌患者の主治医として、十分な知識に根ざした抗がん薬治療をはじめ、最新の標準治療を実践するために、腫瘍外科医や放射線腫瘍医などのほかの専門医と連携して診療にあたる。また、苦痛を伴う患者の闘病生活に寄り添い、合併症も含めた治療だけではなく、心のケアおよびターミナル・ケアにかかわるために必要な資質も求められる。さらには、新たな治療を確立するため

に患者の同意と参加を得て臨床試験を行うなど、がん治療の進歩に貢献する責務も負っている。」

この説明は、なんでもできる腫瘍内科として、あまりにも大きすぎる目標で、新設されて直ちにすべてができるわけではありません。当院における役割としては、「外来化学療法室の安定した運営」が当初の目標となります。



写真2. 外来化学療法室の様子

医師・看護師・薬剤師・栄養士など、患者さんのために働くスタッフをサポートし、患者さんからみた環境が少しでも改善することを目指しています。

外来診療としては、原発不明がんなど、診療科を特定できない患者さんの診断・治療について、各科と連携してあたる予定です。新潟大学腫瘍内科とも連携して、患者さんに最適な検査・治療を提案していきます。入院が必要な患者さんについては、各病棟や当該科とも相談して対応していきます。

当院は、地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院として、新潟大学病院・新潟県立がんセンターとも協力し、患者さんに最善の治療を提供する努力をしています。その中で、少しでも役に立つような腫瘍内科となるよう、頑張っていきたいと考えています。

腹部超音波検査における肝硬度測定について

消化器内科 大崎 暁彦

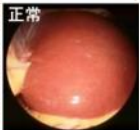
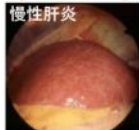
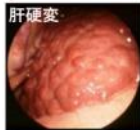
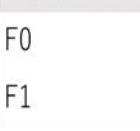
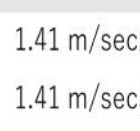
はじめに

今回は、腹部超音波検査の肝硬度測定についてお話しします。物体が振動するとき周囲に伝わる波動を音波といい、人に聞こえない高い音波を超音波といいます。超音波検査は、機械で発生させた超音波を体に当て、体に伝わって反射してきた超音波を画像にする検査です。安全に体の内部を調べることができ、肝臓にも非常に有効な検査です。最近、肝臓の硬さを数値化することもできるようになり、話題になっています。

なぜ、肝臓の硬さが大事なのか？

肝硬度測定の対象となるのは、主に慢性肝炎（6ヶ月以上続く肝炎）の患者さんです。肝炎が長期間続くと、肝線維化という肝臓が硬くなる変化が起こります。肝線維化が最も進行した状態を肝硬変といい、様々な症状、病気が出現します。肝がんも肝線維化が進行するにつれて発生頻度が高くなることが分かっています（表1）肝臓の診療には、肝線維化の程度を調べ、患者さんがどのくらいリスクがある状態なのか評価することが、非常に重要です。

表1. 肝線維化ステージ別の発癌率（年率%）

肝線維化ステージ	F0	F1	F2	F3	F4
					
C型肝炎	0%	0.5%	1.5%	3~5%	6~8%
B型肝炎	0.1~0.4% ¹⁾		0.5~0.8% ²⁾		1.5~8% ²⁾

1)：無症候性キャリアの場合 2)：ウイルス量によって変動あり

肝硬度の測定方法

超音波を用いた肝硬度測定には様々な方法がありますが、当院では、せん断波という特殊な音波の速度を測定する方法を用いています（図1）。音響放射力という高圧力の超音波を体に当てると、組織に小さなひずみが一時的に生じ（人体に害はありません）、せん断波が発生します。せん断波は硬い物体では速く伝わり、柔らかい物体では遅く伝わる性質があります。肝線維化とせん断波速度の基準は、統一されたものはありませんでしたが、新潟大学が主導となって県内の多施設と共同で調査し（当院も参加）、設定した指標がありますので、それを紹介します（表2）。

図1. 肝硬度測定の一例

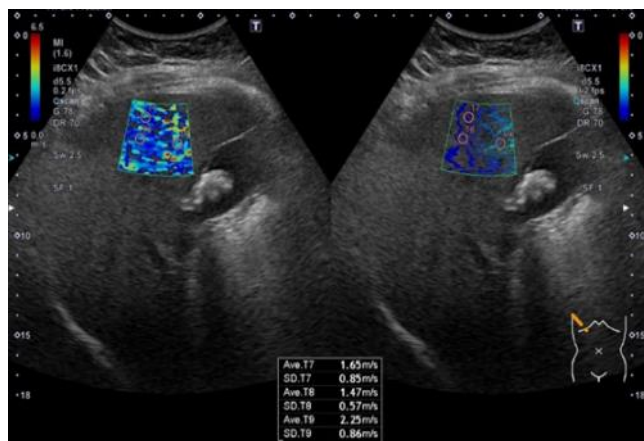


表2. 肝線維化ステージとせん断波速度の関係

肝線維化ステージ	せん断波速度
F0	1.41 m/sec未満
F1	1.41 m/sec以上、1.61 m/sec未満
F2-3	1.61 m/sec以上、2.25 m/sec未満
F4	2.25 m/sec以上

※測定機の機種によって速度は異なる。

肝硬度をどのように利用するか？

肝臓は沈黙の臓器と言われ、多くの慢性肝炎は無症状です。知らない間に肝線維化が進行してしまっていることがよくあります。以前より肝線維化は、肝生検によって評価されてきました。針を刺して肝組織を一部採取する方法ですが、低頻度ながら出血などの危険を伴う検査であり、当院では一泊入院で行っています。

肝硬度測定は、肝生検以外では知ることが難しかった肝線維化を評価できる新しい検査です。正確な評価は肝生検に及びませんが、安

全に、簡便に、繰り返し行えることが長所です。肝線維化の進行した患者さんを発見し、精密検査を勧めることができます。初期の慢性肝炎の患者さんの発見、治療効果判定などにも有効とされています。保険適応上は、慢性肝疾患確定症例で肝硬変への移行を評価する場合に算定できるとのしぼりがあり、まだまだ一般的な検査ではありません。しかし今後、広く普及し、健康診断でも測定できるようになればと我々は期待しています。

病院からのお知らせ

緊急事態宣言が出されたことを受けて、下記の用件に当てはまらない方の面会は、禁止とさせていただきます。

- 病状説明など呼び出しがあった場合
- 手術、検査等のために待機する場合
- 日用品の受け渡しのために面会する場合
- 付き添いが許可されている場合

新型コロナウイルスの流行に伴う一時的な措置です。
ご理解とご協力をお願いいたします。

麻酔とタバコ

～手術前には禁煙を！～

麻酔科 五十嵐 美紀

麻酔科では手術前に禁煙をお願いしています。成人喫煙率は17.8%とされているので、手術を受ける患者さんの2割弱の方が喫煙しており、手術が決まった時点で禁煙指導をされていると思います。しかし、実際は完全には禁煙できなかったという患者さんもいます。それでは、なぜ全身麻酔前に禁煙が必要なのでしょう。

喫煙が体に与える影響は、一酸化炭素、ニコチン、タールなどの成分によります。これは加熱式・電子タバコにも同様に含まれている成分です。一酸化炭素は体内組織での酸素利用を難しくします。ニコチンは脈の増加や血圧の上昇、末梢の血管の収縮を招き、心臓に負担がかかります。また、ニコチンやタールは痰を増やし、気管支を収縮させます。一酸化炭素やニコチンによる血圧や心臓に対する影響は数日の禁煙で改善しますが、肺や気管支への影響は数日では改善しません。呼吸器に関しては、喫煙による炎症で気管支が刺激に対して過敏になり痰や咳が増えたり、肺の中に溜まった痰をうまく出せなくなることもあります。このような呼吸器に対する影響を減らすには1ヶ月以上の禁煙が必要とされています。また、喫煙により免疫細胞の働きが抑制され免疫機能が低下するため、肺炎や術後

感染症のリスクが高くなります。免疫機能の回復にも1ヶ月以上の禁煙が必要とされています。

では、全身麻酔を受ける際に喫煙しているとどのような影響があるのでしょうか。全身麻酔では、患者さんの意識や痛みをとり、手術のために筋肉を弛緩させることもあります。全身麻酔中の患者さんの呼吸や血圧などの全身管理は麻酔科医が行っています。麻酔中は呼吸も弱くなるので、口から気管内に管を入れ人工呼吸器で管理します。喫煙をしている方だと、管の刺激で咳や痰がたくさん出たり、気管支喘息のように気管支が細くなってしまうこともあります。このため、体への酸素の取り込みが悪くなり、脳や心臓などの大切な臓器が酸素不足に陥ってしまう場合があります。安全な人工呼吸管理ができない場合は手術が延期になることもあります。また、術後に肺炎になったり、傷の治りが遅くなったり、化膿するなどの問題を起こす可能性もあります。

このように喫煙は麻酔中だけでなく、術後の回復にも影響を及ぼします。手術を受ける方は自分の身を守るために、是非とも4週間以上の禁煙をお願いします。

当院のホームページにも、バックナンバーを掲載しています。
「新潟市民病院 ふれあい広場」と検索してみてください！

発行元：新潟市民病院 広報委員会
新潟市中央区鐘木463番地7 Tel. 025-281-5151

～編集後記～

平成7年創刊のふれあい広場は160号となりました。平成22年の100号から10年。200号までは、まだまだ遠い道のりですが、地道に頑張ります（一同）